

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 10. 31 第 187 回国会第 4 号

10 月 31 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・岸田外務大臣、江渡防衛大臣、石川防衛大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

大 串 博 志君（民主）

- ・平成 24 年に資金管理団体から人件費として支出を受けた私設秘書は、いつ当該収入を確定申告したのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・聡友会支払部分のみを明記した同秘書の平成 24 年分確定申告書の写しを当委員会に提出願いたい、江渡防衛大臣の意向を伺いたい。

足 立 康 史君（維新）

- ・安全保障法制の全体像はいつ頃国会に提示できるのか、石川防衛大臣政務官に伺いたい。
- ・集団的自衛権に関する憲法解釈の変更等を示した閣議決定後の安全保障法制に関する与党協議の開催状況について、石川防衛大臣政務官に伺いたい。
- ・ホームページで自身の支援企業の会と紹介された政経福祉懇話会は、政治団体として届け出るべきではないのか、江渡防衛大臣に伺いたい。

桜 内 文 城君（次世代）

- ・現在、自衛隊による警戒監視活動は、防衛省設置法で規定する「所掌事務の遂行に必要な調査及び研究」として行われているが、自衛隊法を改正して自衛隊の行動の一つとして位置付けるべきではないのか、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・グリーゼン事態に対処するため、いわゆる領域警備法を整備する必要があると考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・警察又は海上保安庁では対応できない事態に対処するための治安出動や海上警備行動等における自衛官の武器使用について、警察官職務執行法を準用していることは不適当ではないのか、防衛省の見解を伺いたい。

三 谷 英 弘君（みんな）

- ・武力行使新 3 要件に基づき自衛隊が機雷除去活動を行っている中で、国連安保理決議が採択され、国際法上の根拠が集団安全保障措置となった場合、我が国は同活動を継続できるのか、岸田外務大臣に伺いたい。
- ・ペルシャ湾が機雷封鎖された場合に、誰が、どのような基準で、その事態が武力行使新 3 要件を満たすか否かを判断するのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・日米防衛協力のための指針の見直しに関する中間報告に「サイバー空間における協力」が盛り込まれたが、サイバー攻撃に対処する部隊の規模や能力に大きな差がある自衛隊と米軍との間で、実効的な協力が可能なのか、防衛省に伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・今月 20 日、日米両政府は日米地位協定の環境補足協定に実質合意したと共同発表したが、その中で普天間飛行場の辺野古移設が言及された理由について、岸田外務大臣に伺いたい。
- ・同発表では、米軍施設・区域内で環境汚染が発生した場合の責任の所在について言及されていないが、米軍に責任をとらせる仕組みを作らない限り事態は変わらないのではないのか、外務省に伺いたい。
- ・同発表では、我が国政府は、環境に配慮した種々の事業等のために資金を提供するとしているが、どのような事業等が検討されているのか、外務省に伺いたい。

村 上 史 好君（生活）

- ・昨 30 日、拉致問題の再調査の現状等を確認するため北朝鮮に派遣された政府代表団が帰国したが、今回の派遣の意義及び評価並びに今後の見通しについて、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・日米防衛協力のための指針の見直しが先に合意されれば安全保障法制の整備に制約が生じ得ることから、まず国内法の整備から行うべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・指針の見直し作業には、内閣法制局も関与すべきと考えるが、横畠内閣法制局長官の見解を伺いたい。

吉川 元君（社民）

- ・佐賀空港への陸上自衛隊ティルト・ローター機の配備及び米海兵隊オスプレイの訓練移転については、訓練ルー

ト下にある地方自治体等を含め、関係自治体の同意を得る必要があると考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・日米地位協定の環境補足協定に実質合意したとの日米共同発表を行った理由及び同協定の署名時期について、岸田外務大臣に伺いたい。